

2015.07.14-2

大分県・タデ原湿原のハンカイソウ、チダケサシ



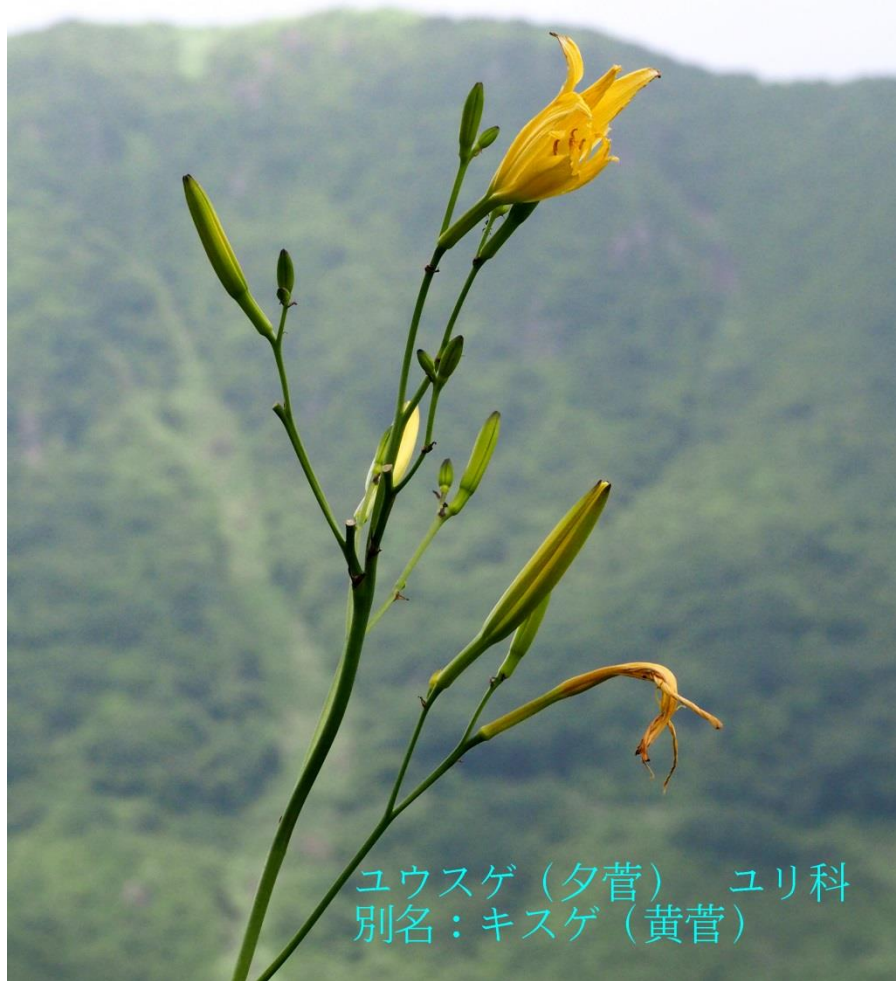
チダケサシ (乳苣刺)  
ユキノシタ科

三俣山（みまたやま）1745m

指山1449m



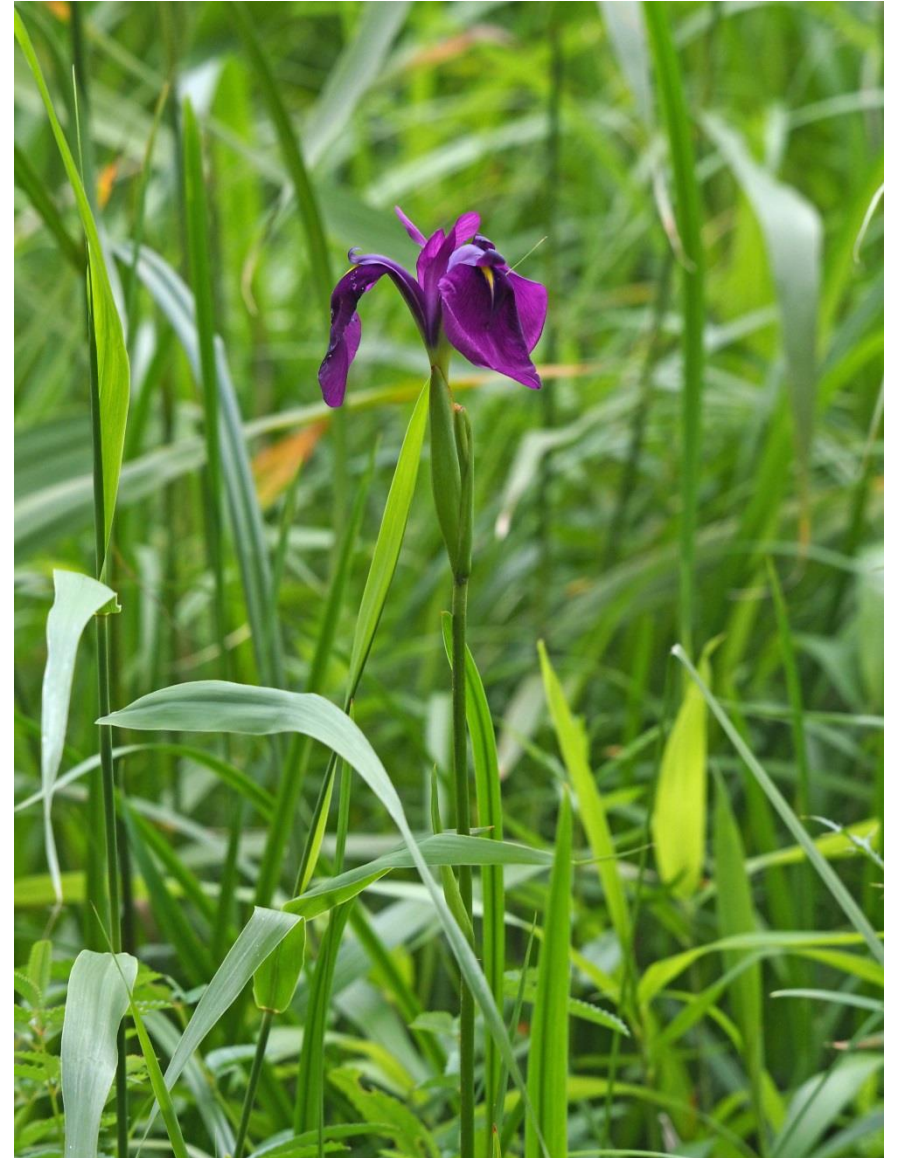
山野に自生し、高さ約1メートル。葉は線形。初夏、鮮やかな淡黄色のユリに似た花が咲き、夕方開いて翌朝しぼむ。きすげ。(出典：デジタル大辞泉)



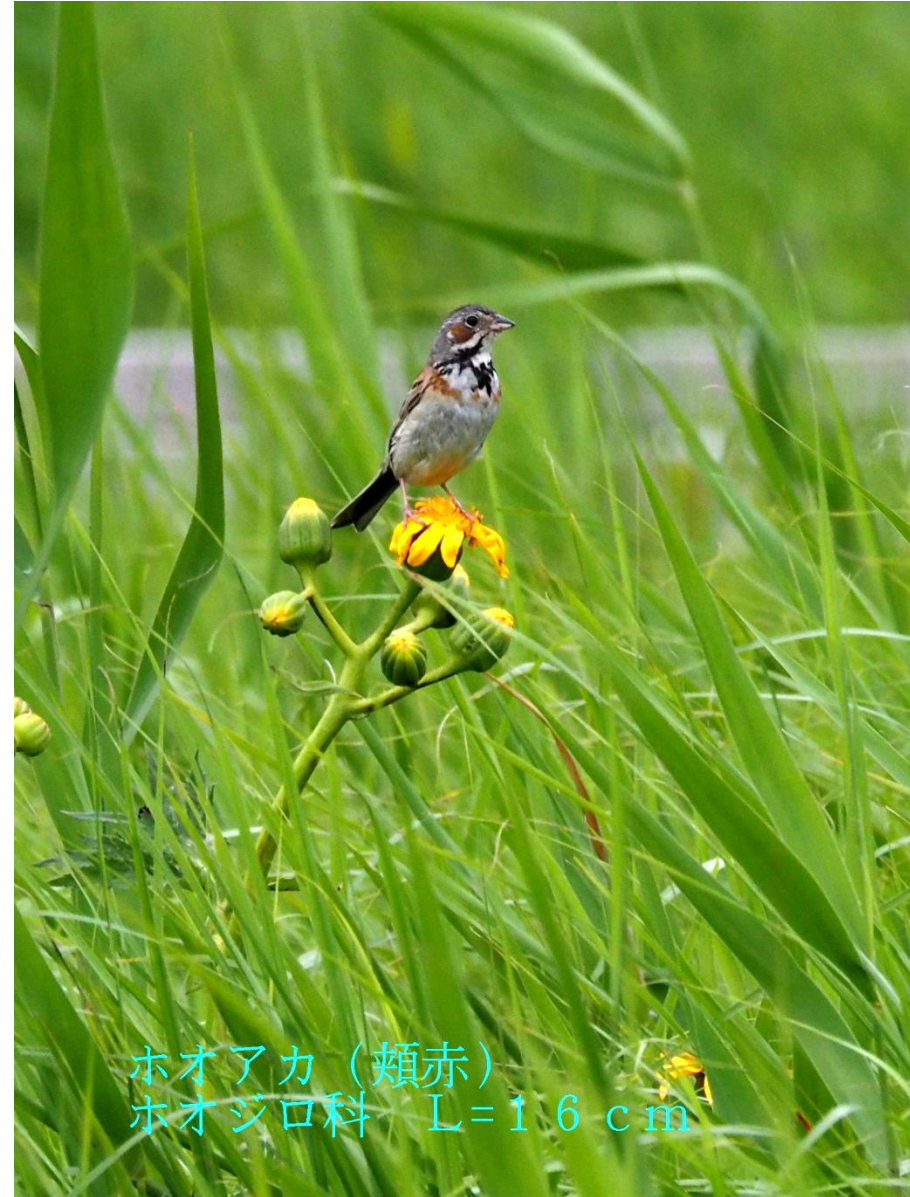
ユウスゲ (夕菅) ユリ科  
別名：キスゲ (黄菅)



山地や野原に生える。高さ約1メートル。葉は剣状。6月ごろ開花し、花は基部に黄色い斑をもつ外花被3枚と、小さくて直立する内花被3枚とからなり、ともに赤紫色。ハナショウブの原種。(出典:デジタル大辞泉)



ホオジロに似るがやや小さく、頬は茶色。日本では山地や寒冷地で繁殖し、冬期は温暖地に移動する。(出典:大辞林 第三版)



ホオアカ (頬赤)  
ホオジロ科 L=1.6 cm

山野の湿地に生え、高さ50～80センチ。細長い葉が対生または輪生する。夏、多数の黄色い花を円錐状につけ、硫黄草(いおうそう)ともいう。マメ科のレダマに似る。(出典:デジタル大辞泉)



上泉水山 1447 m

ハンカイソウ (樊噲草) キク科

キク科の大型多年草で、東海地方より西の本州と四国、九州および朝鮮半島、台湾、中国に分布する。山地のやや湿ったところに生える。(出典:ブリタニカ国際大百科辞典)







山野に生え、高さ約50センチ。葉は羽状複葉。夏、薄紅色か白色の小花を多数つける。  
名は、茎が細く強いのでチチタケを刺すのによいことに由来。(出典:デジタル大辞泉)





山野の湿原などに自生する。アジアでは朝鮮半島、中国東北部、シベリアに分布する。  
花から芳香が香るので、ジャコウチドリの別名がある。(出典:Wikipedia)





イタドリ（虎杖、痛取） タデ科  
別名；スカンポ、イタンポ、ドンガイ



オカトラノオ（丘虎尾） サクラソウ科



カキラン（柿蘭） ラン科